

GK1276/1296 シリーズ電気リムストライク 取付説明書

GK1276/1296シリーズ電気リムストライクは表面実装型で、プルマンラッチ付きのリム式パニックバー装置に対応するよう設計されています。取り付けの際、フレームの切断は必要ありません。これらのストライクは、フェイルセーフまたはフェイルセキューアモードを現場で選択でき、12/24VDCのデュアル電圧で作動します。オプションでラッチモニターをご用意しています。

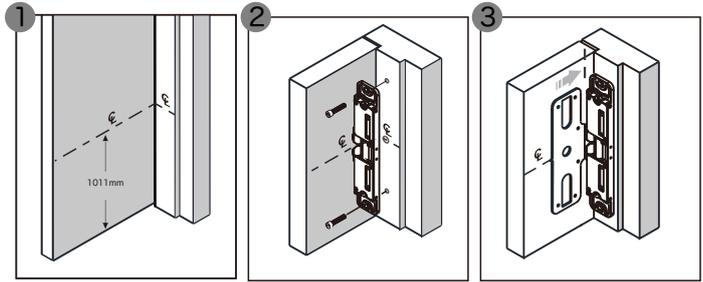
仕様

モデル	GK1276 GK1276M	GK1296 GK1296M
操作電圧	12/24VDC	
消費電流	540mA/12VDC, 270mA/24VDC	
操作温度	-10°C~+49°C	
湿度	0~85% 結露なし	
静的保持強度	680Kg	
動的強度	9.677kgf.m (70 ft-lbs)	
耐久性評価	250,000サイクル(ULテスト済) 1,000,000サイクル(自社工場テスト)	
ロック機能	現場で選択可能：フェイルセーフ or フェイルセキューア	
パフォーマンスレベル	破壊的な攻撃：レベル1 ラインセキュリティ：レベル1 スタンバイ・パワー：レベル1 エンデュランス レベルI エンデュランスレベルIV	
仕上	ブラッシュドステンレススチール (US32D)	
取付枠素材	鋼製 or 木製	
ラッチの出 (ハウジング厚)	19mm	12.7mm

UL規格

- ・屋内使用のみ
- ・配線方法は、NFPA70に準拠してください。
- ・GK1276/1296シリーズは、UL規格のパニックハードウェアと組み合わせて使用することを想定しています。
- ・GK1276/1296シリーズは、ドアに取り付けられたパニックハードウェアの動作を損なわないこと。
- ・GK1276/1296シリーズ電気ストライクは、入退室管理システムで制御されることを目的とした入退室管理ユニットのアクセサリです。入退室管理システムの目的は、建物内の外部および内部のドアの口施錠と解錠を制御する手段を提供することです。

枠表面実装(面付け)



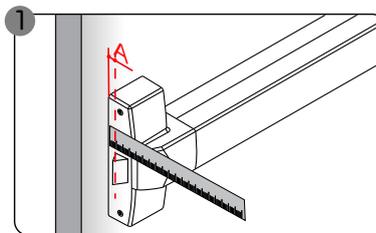
1 完成した床から1011mmの高さを測り、ドアのストライクセンターラインを印を付けます。中心線を枠に移します。

2 ストライクをセンターラインに合わせ、2つのスロット穴に印を付けます。穴を開け、ストライクを枠に取り付けます。

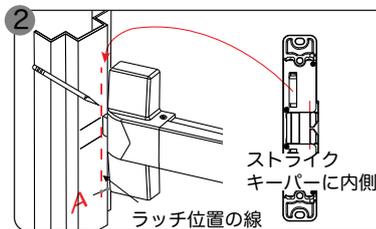
3 テンプレートを中心線に配置し、ストライクに合わせます。

面付け設置 (パニックバーがすでに設置されている場合)

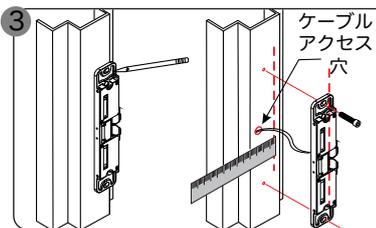
モデルGK1296を例に説明します。



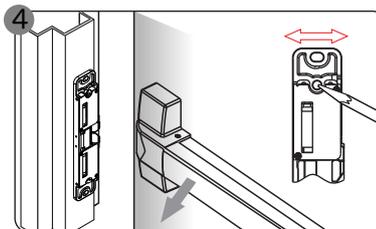
a. ドアのパニックバーのラッチの位置、高さを測定します。



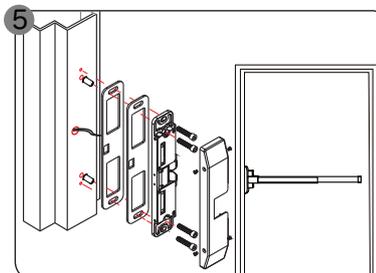
a. ドアを閉じ、枠にラッチの位置をマークします。
b. ラッチ位置の線は、図のようにストライクキーパーの内側と一致します。



a. マークされたラッチの位置に従って、ストライクを枠上に配置します。
b. ストライクをテンプレートとして使用し、ケーブルアクセスホールと2つの取り付け穴をマークして開けます。
c. プラスの平頭ネジでストライクを緩く取り付けます。



a. ラッチボルトの相互作用を確認し、ドアが正しくラッチされるまでストライクを水平に調整します。
b. 2本の取り付けネジを締め、残りのネジ穴に印をつける。



a. ストライクを外し、穴を開けます。
b. 配線を接続します。
c. ブラインドナットを穴に挿入し、ストライクを再度取り付けます。
d. 必要に応じてスペーサーを追加し、ストライクと出口装置の間の隙間を調整します。
e. 六角穴付きボルトでストライクをブラインドナットに固定して完了。

